



JASDAQ

平成 22 年 6 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 S B R
代表者名 代表取締役社長 高梨宏史
(JASDAQ・コード2759)
問合せ先 総合企画室次長 佐野友義
電 話 03-5733-4492

支配株主等に関する事項について

当社のその他の関係会社である株式会社光通信について、支配株主等に関する事項は、下記のとおりになりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(平成 22 年 6 月 25 日現在)

名称	属性 (※1)	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されて いる金融商品取引所等 (※4, 5)
		直接所有分 (※2)	合算対象分 (※3)	計	
株式会社光通信	その他の 関係会社	10.43	26.71	37.14	株式会社東京証券取引所 市場第一部

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由
該当事項はありません。

3. 非上場の親会社等に関する会社情報の適時開示の免除の理由
該当事項はありません。

4. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

株式会社光通信は、同社のグループ会社が保有する当社株式を含めると、平成 22 年 6 月 25 日現在、当社議決権の 37.14%を所有する当社の関係会社（その他の関係会社）に該当いたします。

当社は、光通信グループとの関係を強化することにより、両グループの有する商材・サービスの相互販売を通じて販路・商流の拡大等が図られ、当社グループの営業力が中長期的に強化され、業績拡大による企業価値、ひいては株主価値の向上に繋がると判断するに至りました。そこで、両グループの協力関係を一層強固にし、深化させるべく、資本関係に踏み込んだ関係強化を行うこととし、同社及び同社グループ会社に第三者割当による新株式を発行いたしました。

株式会社光通信との人的関係につきましては、1名が当社の取締役を兼務しておりますが、これは同社との関係を強固にし、客観的な視点による当社経営への支援を目的として就任したものであり、また、当社の取締役の半数に至る状況ではないことから、当社独自の経営判断に支障をきたすことはございません。

当社は、同社グループと緊密な協力関係を保ちながら事業を展開する方針ではありますが、当社の事業活動における制約はなく、また役員の兼務状況は独自の経営判断を妨げるものではないことから、一定の独立性が確保されている状況にあるものと認識しております。

(役員・取締役の兼務状況)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
取締役	大谷淳志	株式会社光通信 パートナー戦略室統括部長	同社で培われた豊富な経験や専門的な知見を当社の経営に活かしていただくため。

(注) 当社の取締役5名、監査役3名のうち、その他の関係会社との兼任役員は当該1名のみでございます。

(出向者の受入れ状況)

部署名	人数	出向元の親会社等又はそのグループ企業名	出向者受入れ理由
営業本部 RM部 購買支援グループ	6名	株式会社光通信	法人向け携帯電話販売を開始するにあたり、株式会社光通信の営業ノウハウを取得することを目的として同社の従業員の出向を受入れております。

(注) 平成22年6月現在の当社の従業員数は608名(グループ連結708名)でございます。

5. 支配株主等との取引に関する事項

平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

属性(種類)	会社名	所在地	資本金(百万円)	事業の内容	議決権等の所有割合(%)	議決権等の被所有割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
その他の関係会社	株式会社光通信	東京都豊島区	54,259	移動体通信事業、OA機器販売事業、固定回線取次事業、インターネット関連事業、保険代理店事業、ビジネスソリューション事業 他	直接 0.0	直接 10.43 間接 26.71	業務提携契約を締結、法人向け携帯電話販売における代理店、資金の借入、役員の兼務、出向者の受入	資金借入	—	短期借入金	500

6. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

支配株主との取引については、主に取引されている市場等の客観的な情報をもとに、一般的な取引条件と同様に合理的な決定がなされており、少数株主に不利益を与えることがないように適切に対応しております。

以 上